

中央公民館だより



「文化活動」

魚沼市小出郷文化会館 館長 桑原 幸子



新しい元号の時代が始まりました。

「令和」とは「美しく心寄せ合い文化育つ」人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味がこめられていると報道されました。安倍総理も「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の様に一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいと願いをこめて「令和」に決定したと言っておられました。

現在世の中は情報も物もあふれていますが、本当に豊かでしょうか？ネット上では、誰でも勝手気ままに発言でき、リアル社会では商品の大量廃棄や食物ロスが問題になる一方で、子ども食堂が必要になるなど7人に1人の子どもの十分な食事ができていないそうです。薬物依存や虐待といった自分や人を傷つけることでしか存在が確かめられない人も増えているように感じます。では、身近なところで何ができるのでしょう。芸術鑑賞や文化活動は想像力を豊かにし、実際には体験できなくても舞台や映像を通して疑似体験として感じるができます。日常は忙しくても芸術を鑑賞する時間が暮らしの張り合いになるはず。鑑賞するだけでなく実際に活動に参加することも生活に潤いが生まれるでしょう。芸術文化と聞くとハードルが高いように感じますが、コーラスや踊り・ダンスは活動団体の数も多く、楽器に触れたいのなら吹奏楽の団体もあります。リコーダーなら、ご家庭に眠っていますよね。できることから始めてみませんか？文化芸術には、心の糧となる力があります。

文化活動を通じて美しいものを美しいと感じ、理想の形をもとめ励む姿を応援しその時間を同じ空間で過ごすことで自分も豊かになっていくように、令和という新しい時代に小出郷文化会館も文化を育て心寄せ合う場所になればと思っています。

入広瀬公民館の紹介

入広瀬公民館 主事 佐藤 小百合

新年度がスタートしました。入広瀬公民館では多くの方から、教室に参加していただきたいと、高齢者講座をはじめとし、体を動かす講座、趣味の講座、子ども対象の講座などを計画しています。ちよつと（かなり・・・？）遠いですが、きれいな景色を見ながら、ドライブがてら参加してみてください。お待ちしております。

2019 年度活動紹介

- ❁ 高齢者講座
- ❁ ピラティス&ストレッチング教室
- ❁ ノルディックウォーキング
- ❁ ふるさとを歩こう
- ❁ 夏山登山 守門岳
- ❁ 着付けレッスン
- ❁ チョークアート教室
- ❁ 子ども茶道教室
- ❁ 子ども陶芸教室
- ❁ ぬか釜炊飯



チョークアート教室



子ども茶道教室



子ども陶芸教室



着付けレッスン

素晴らしい展示会場で

守門公民館館長 横山 治隆

- 他所で見せていただいたのと同じ作品なのに、この会場ではなお一層輝いていました。
- 普段何気なく見ている星空がこんなにステキなんだなあとつくづく感心しました。
- 自然と人間の一瞬を切り取る所、写真と俳句は通じるものがある。こちらにも感動が伝わってきました。

美術展示室の見学者の感想ノートの一部です。
守門公民館の特徴の一つが素晴らしい美術展示室で、市内の一般の方々の作品はもちろんプロの美術家の作品も展示してきました。
今までは、写真や水彩画、書道や工芸作品、お年寄りのパズルなど本当に多彩な作品を紹介してきました。
趣味や楽しみ、生きがいややっている作品を発表する会場なのです。気軽にあなたの作品も発表してみませんか。



ようこそ広神公民館へ

広神公民館館長 山田 弘行

広神公民館はどこにあるかご存じですか？ 広神図書館は知っているけど公民館は知らないという方、いらっしやるのではないのでしょうか。公民館は図書館と同じ「広神コミュニティセンター」の一階に事務室があります。皆さんへの認知度は、図書館より低いのかなと思っていました。

それでは公民館はどんなことをやる（やっている）場所なのでしょう。講座や教室を開催し、皆さんの知識や技術を高める生涯学習の提供場所であったり、参加者同士の繋がりの機会を構築する場所であると考えています。

しかし、本題はとても奥が深く、公民館が果たすべき役割はもつと他にもあるのだろうと考えています。

来館される人たちとの会話や交流を通して、教えられることはたくさんあります。中山間地域の人口減少問題や少子化・高齢化の問題など、気分は暗くなりがちですが、地域の子どもた

ちのために一生懸命ボランティアで指導をしている若い人たち、自主的に陶芸や大正琴、茶道などを楽しんでいる人たちに会おうことで、大きな元気をもらっています。そして、公民館も社会や時代の流れとともに、役割そのものが変わろうとしている時期に来ているような気がしています。

広神公民館の入り口には「学びから地域づくりを 学びから人づくりを」という、素晴らしい標語が貼られています。今年度の公民館事業もスタートしました。少しでもこの標語に近付けるよう職員一同頑張っていますので、是非一人でも多くの皆さんから事業に参加していただき

広神公民館を知ってもらいたいと考えています。



堀之内公民館に行きませんか？

堀之内公民館主事 大平 裕也

堀之内公民館では貸館として7つの部屋を用意している他に、図書室、ラウンジ、応接室があります。そして市内の公民館では唯一プラネタリウムを設置しています。

堀之内公民館のプラネタリウムは歴史も長く、昭和57年に誕生して今年で38年目を迎えました。機械もめずらしいようで、昨年プラネタリウムの上映ではなく、機械を見るために新潟市から来たという方もいらっしゃいました。

現在、6月～11月の半年間で毎月2回上映しています。上映プログラムは毎月に変更しており、7月は「たなばた物語」を上映いたします。

夏の大きな三角形が見事に見えるので子どもから大人まで楽しめる内容となっております。8月以降もその時期毎の星空を楽しめますので、皆さん



ん、是非お越しください。

さて、堀之内公民館では部屋を貸すだけではなく、様々な講座を開催しています。

4月には夏野菜作り教室、5月には文化財散歩で俎板平（まないたびら）城跡や永林寺などに行ってきました。職員も新鮮な発見や驚きを感じながら、講座を運営しています。

今後まだまだたくさん講座を予定しております。古文書教室や、秋野菜づくり教室、パークイリリングなどジャンル異なる講座が目白押しです。

いずれも詳細が決まり次第、市報や市HPなどでご案内いたしますので、内容をご確認いただき、少しでも興味のある講座がございましたら、是非ご参加をお待ちしております。

小出公民館・小出北部公民館の紹介

小出公民館館長 八海 昭夫

◎ 小出公民館

小出公民館は、小出庁舎の隣にあります。2階に和室会議室と会議室（机といすの教室タイプ）があります。申し込みは、小出市民センター（電話792-1111）にご連絡ください。



◎ 小出北部公民館

小出北部公民館は、稲荷町にあり、隣に子育て支援センターがあります。1階がピロティになっていて、2階に大会議室、3階に調理実習室、研修室、和室会議室があります。

平日は、午前9時から午後4時まで公民館主事がいますので、お気軽にお声かけください。



夜間は午後10時まで利用できません。夜間と土日祝日は、近くの鍵管理委託者のところから鍵とセキュリティカードを借りて入館ください。

現在、すぐ目前で魚沼市役所の新庁舎が建設中です。新庁舎の進捗状況の見学がてらご利用いただければ幸いです。

2階のミニギャラリーでは、サークルの作品展示や活動紹介等を行うことができます。現在、石川雲蝶ミニパネル展をやっています。日本のミケランジェロといわれる幕末の名匠の彫刻や絵画の写真を、どうぞじっくりとご覧ください。

伊米ヶ崎公民館では「楽しんで長生きを」

伊米ヶ崎公民館館長 鎌田 惣吉郎

日本における平均寿命は世界トップレベルで推移し、2017年では男性81.09歳（第3位）、女性87.26歳（第2位）と発表されています。

最近注目されている言葉に「セテナリアン」という言葉があります。これは、百歳以上まで生きること、現実の目標として生活している人を指す言葉だそうです。詳細は割愛しますが、「五十歳から取り組むセテナリアン新条件」の一項に長生きの秘訣は「誠実であること」が挙げられています。また、同様に「開放性（新しいことを取り入れるオープンさ）」「外向性（様々な人と仲良くなること）」「誠実性（決めたことを守る）」が高い事なども述べられています。

私たちは生涯を通じて、人との繋がりをもち、より楽しく、より充実した日々を過ごす傍らには、常に他者との関わりを意識しています。そこにはセテナリアンを実践し地域コミュニティを支える一つの拠点として、必要不可欠な場が必要と考えます。

「伊米ヶ崎公民館」、ここでは、

多種多様な講座やイベント等を開催しています。学習の場であることはもちろんですが、地域の皆様が気軽に訪れ、憩い、活動をするふれあいの場でもあります。子どもが遊び、お年寄りが困らな

る場、さらに地域が秘める芸術や特技などの発信など、特性を生かした活動を通じて地域の皆様に関心を持っていただき、関わりや学び場として活用していただくことを目標としています。

公民館は単に「まなぶ」という立場だけではありません。地域に住む住民が、公民館で「つどい」そして「つなぐ」ことによって、さまざまな人とのつながりが出来る事も機能の一つです。これらの機能を備えているのは公民館の強みであり、他の公共施設にはない大きな特徴です。

魚沼市には、どこにも負けない素晴らしい自然や文化があります。雪は天の恵みで、野山の草木も雪のふところを守られています。この雄大な景観と環境のもとで公民館事業を考え、歴史と文化を継承するような地域の創造を模索していきたいと考えています。

「地域の宝」

湯之谷公民館 紹介

湯之谷公民館館長 桜井 忍

湯之谷公民館は、湯之谷中学校の隣（世代間交流施設内）にあります。事務所内には、湯之谷地区老人クラブの事務局も一緒に賑やかな職場です。

最近、職場でも家庭でもパソコンや携帯電話（特にスマホ）を使う機会が多く、お蔭でカタカナ言葉に悩まされています。

日常生活の中でも日本語ですら難しい言葉が多い中で、英語？カタカナ？どちらかわからない言葉だらけです。同じカタカナでも、「ゼンマイ」「ウド」「ワラビ」などの言葉の方が理解しやすいですね。

今年も湯之谷公民館では、「英語やカタカナ言葉」に悩まされない自然に親しむ活動を多く取り入れ、地域の宝（自然、歴史、文化等）に触れて学び、魅力や愛着をもってもらうことを大きなテーマ

としています。

年間事業の中でも、「自然観察講座」、「登山教室」、「尾瀬ハイキング」など自然や山岳、歴史と親しみ、楽しんで学習する場面を多く取り入れております。

また、二階ギャラリーでは、絵画・写真などの作品展示や研修室、和室での会議やサークル活動などの会場としてもご利用いただけます。

特に今年度、昭和十三年、厳冬の銀山平

で（片貝沢）で発生した旧陸軍機遭難事故の遺品展示を予定しています。



魚沼江戸古道「銀の道」ハイキング



「万年雪」ハイキング



二階 ギャラリー

新館長紹介

その1

中央公民館・堀之内公民館

館長 森山 正昭

今年の4月1日付で中央公民館・堀之内公民館の館長になりました。森山正昭と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今まで魚沼市の職員として皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

魚沼市の公民館は市全域を対象とした中央公民館と合併前の旧6町村の地域を対象とした7つの地区公民館（小出地区は2か所）及

び1つの地区分館で組織されています。そして、それぞれの地区公民館・地区分館では歴史と伝統に支えられた多様な公民館活動を実施しています。

今後も中央公民館としての役割を担いつつ、地区公民館・地区分館ごとの特色を活かした活動の支援や連携事業の充実に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

伊米ヶ崎公民館

館長 鎌田 惣吉郎

よろしく申し上げます

例年よりも早い春が訪れ、雪の下に眠っていた草花が一斉に活動を開始したこの4月から、伊米ヶ崎公民館でお世話になっていきます。

今まで公民館活動については誠に縁がなく、年に数回訪れることしかなかった私ですが、このたび伊米ヶ崎地区の公民館長をお引き受けすることになりました。

「伊米ヶ崎」ここは先人が育んできた風土のなかで、歴史と伝統

今年は今和元年という記念すべき年に、新たな発見や人とひととの繋がりができることを目指し、公民館活動を通じてお手伝いできればと思っております。

これから地域の皆様にお世話になります。前任者同様よろしくお願いたします。

新館長紹介

湯之谷公民館

館長 桜井 忍

懐かしい出会い

「おはようございます。今日もよろしくお願ひします。」

毎朝、この挨拶で一日が始まります。

「公民館」にお世話になり、早、ひと月が経ちました。公民館の意味も分からず、早速ネットで「公民館」検索。「公民館とは・・・」「ウーン 難しい！」検索終了の早いこと。

なんて言ってる時にお客様。昔懐かしい方が事務室に入ってきました。「ふさんこったの〜まめだつ

小出公民館

館長 八海 昭夫

地域づくりを担う人づくりのために

この四月から小出公民館長、兼ねて小出北部公民館長を仰せつかりました。以前、教育委員会職員として、社会教育に携わった経験がありますので、それらを活かしながら業務に邁進して行く所存です。公民館は、戦後、荒廃した国土や郷土を立て直す原動力として、日本人自らの手で構築されたもの

入込瀬公民館

館長 穴沢 良一

公民館でグレートアップ

今日、医療や福祉の世界では健康寿命を伸ばし、生活の質QOLを向上させることが課題と言われています。しかし、このことは誰もが生活の質QOLを向上させ、グレートアップさせたいと思うのではないのでしょうか。

日々の生活で充実感や満足感があり生きがい

たかの〜」の挨拶で、コーヒーを飲みながら懐かしい昔話で盛り上がる日々。その後もサークル活動や立ち寄りのお客さまの何年ぶりかの懐かしい顔ぶれとの会話もあります。

来館される方の多くは、いろんな趣味をお持ちで、恥ずかしながら自慢できることが何もなく「よし！何か一つくらいは自分のために」と思う毎日です。

いつか誰かに教えていただいた「つもりちがい十ヶ条」を心がけ、これからいろんな方々との出会いも楽しみにしています。

事務所にもお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

で、個人の満足や豊かさだけでなく、地域の振興や地域づくりの拠点としてつくられたものです。

そして現代は、少子高齢化が進行し、限界集落という言葉があるように、地域社会の持続可能性そのものが課題となっています。

それらを克服するためにも、公民館設立の原点に立ち返り、地域づくりを担う人づくりのために、市民の皆様方とともに明るく楽しい事業を展開したいと考えています。

もって生活することは大切なことです。

そのためには公民館講座に参加することはとてもよい機会です。生涯にわたって学び続けることは、必ずやより質の高い生活につながるものだと思います。

公民館の講座を受講し、まずは参加してみたいかがでしよう。学びたい講座もいつでも募集しています。大いに提案していただき共により豊かな生活に向け、公民館活動に取り組んでいくことができばと思います。

だんだんど〜も

73、637という数字が私の手元にある。私が読んだ本のページ数だ。守門公民館には図書室が併設されていて、読書好きな私にはもったいの幸い。私が図書室を借りて楽しめば自館の実績アップにもつながる？

子どもたちの読書量アップのために50冊分を記録できる読書ノートも置いてあり、それを私なりに活用し、現在は6冊目になっている。読書ノートは題名と読了月日を記入するようになっていて、著者名と2行の感想、ページ数、最後は累積ページ数を記入している。

この3月末日の累積ページ数がこの数字だ。これは図書室利用の女性が自家製読書ノートを活用しているのを見て真似をし始めてからだ。その方は「読書ノートを書き出したのは読書を楽しむことと同時に、脳トレになるから」と話されていた。

この方法は確かに良い脳トレであり、読了数が増えていくと読書の励みにもなる。自分でも数字を伸ばしながら、いろいろな人にこの活用方法を伝え、貸出冊数を増やしていきたい。子どもたちだけでなく大人にも褒美が出れば。

守門公民館長 横山 治隆

表紙の目

令和元年の成人式が五月四日に小出郷文化会館で開催されました。当日は魚沼市を離れて久しぶりに帰ってきたという方も大勢いました。ふるさと「うおぬま」を満喫されたことと思います。新成人「魚沼っ子」に幸多かれ。

魚沼市中央公民館長 森山 正昭

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 森山 正昭